

スローガン

相互扶助

～One Hamanako!～

理事長 尾上 定

～はじめに～

『相互扶助』とはお互いに助け合い、支え合うこと。

『相互扶助』の精神は、「明るい豊かな社会の実現」に必要なものだと私は信じています。

昨年、一般社団法人浜名湖青年会議所は、公益社団法人日本青年会議所東海地区静岡ブロック協議会に会長並びに役員を多数輩出し、第52回静岡ブロック大会を主管して成功へと導きました。本年は、この経験を活かし、私たち会員がさらなる成長を遂げる絶好の機会です。志高く常に前進していくことは、私たち青年に課せられた使命であると私は考えます。

悩んだり、困ったり、心が挫けそうな時には、会員同志がお互いに助け合い、支え合うことにより『One Hamanako!』という想いの周波数を合わせ、「明るい豊かな社会の実現」のために日々邁進していきましょう。

～持続可能な社会の実現に貢献する～

2015年9月の国連サミットにて、「誰一人取り残さない」というコンセプトのもと「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。このコンセプトを分野別の目標としてまとめたものが持続可能な開発目標（SDGs）です。

本年度の浜名湖青年会議所は、このSDGsの17のゴールと169のターゲットを推進して全事業を行います。浜名湖地域の、経済・環境・社会の諸問題の解決のために、今行うべきことは何かを真剣に考え、取り組むことにより、私たちがこの地域において一番SDGsを推進する団体となります。

～組織の進化～

令和という新しい時代が始まりました。社会的価値観がますます多様化し、主体性が問われる現代において、組織は変革を求められています。私たちの組織はどうでしょうか。会員一人ひとりが主体性を持って行動できているのでしょうか。

私は、この浜名湖青年会議所の全会員が当事者意識を持って地域の課題解決に取り組む組織でありたいと考えます。そのために、一人ひとりがあらゆる事象を「自分事」として捉えて運動を展開する体制作りを努めます。主体性を持った「個」が、一つの集団となっ

て行動することができる組織に進化することを目指します。

～まちづくりはひとづくりから～

私たちは、全会員が青年経済人であり、それぞれの企業や個人において、しっかりと業績を向上させ、社会に貢献するという使命を抱えながら活動しています。その使命を果たすために私たちは日々自己成長を続けなくてはなりません。

本年度は、自己成長を「信頼に値するJAYCEEになること」と定義をして活動を行って参ります。あなたの行動や発言は信頼に値しますか。このことを常に意識して共に青年会議所活動に取り組んでいきましょう。

信頼の輪が広がっていくことにより、企業や団体や個人と、より強固なパートナーシップを組むことが可能となり、この地域の更なる発展に貢献できると確信しています。

～なかまづくり～

私たちはどうして「なかまづくり」をしなくてはならないのでしょうか。それは単に組織の存続や運営のためではありません。

入会した時には自分のことで頭がいっぱいだった会員も、青年会議所活動を続けるうちに、誰かのため、地域のためにということを考えるようになります。自分のことばかりを考える人より、世のため・人のためになることを考えられる人が多くなれば、このまちは今以上に良くなります。

明るい豊かな社会の実現のために、まちの次代を担う人財の獲得に向けて、会員全員の力を結集して行動して参ります。そのために、本年度は私自身が先頭に立って会員拡大の号令をかけて、会員全員が参加する会員拡大のシステムを構築して参ります。

～青少年の育成～

情報社会に続く新しい社会として「Society 5.0」が政府より提唱され、産学官連携で実現を目指している「超スマート社会」が近い将来訪れます。変化の時代を生きる子どもたちに私たちはなにを伝えることができるのでしょうか。

本年度の青少年育成事業は、AIやIoTをはじめとする最先端の技術を学び、その技術が私たちの地域の問題解決にどう生かすことができるのかを考えるきっかけになる事業を行います。

時代の変化を悲観的に捉えるのではなく、最先端の技術を利用して、持続可能な社会の実現に向けて主体的かつ意欲的に行動できる人材育成を目指します。

～運動の発信～

浜名湖青年会議所の認知度や存在価値を高めるために、時代に即した広報戦略を考える必要があります。科学技術の発達により、その手法は多様化しています。時には先入観を

捨てて、持続可能な広報戦略の仕組みを構築して参ります。

広報戦略を考えるうえで一番大切なことは、常に情報の受け手の目線に立つということです。私たちの認知度や存在価値は、受け手が判断するものであり、理解を得たい相手の共感を得ること、意識されるようになる情報を届けることが必要です。

「伝えたいこと」を「伝えたいひと」に対して持続的に「伝えること」により、その積み重ねが私たちの認知度や存在価値を高め、この地域にさらにインパクトを与えることができる組織になると確信しています。

～創立45周年～

一般社団法人浜名湖青年会議所は名称や法人格の変遷を経て、本年で45周年を迎えることができました。私たちが仲間と共に活動できるのも諸先輩方、地域の皆様、活動にご支援を頂いてきた関係者の皆様のおかげです。皆様に感謝の意を伝えるのと共に、この地域に持続可能な社会の実現に向けた「気づき」を提供できる記念事業を行います。

～結びに～

私たちが今こうして共に活動できること。それは当たり前のことではありません。諸先輩方が、この浜名湖青年会議所をどのような想いで立ち上げ、つないでくださったのかを忘れることなく、家族や社員そして仲間に日々感謝して活動していきましょう。

当然、会員間においてそれぞれに温度差は必ずあります。熱は温度が高い場所から低い場所にしか流れないのであれば、私自身が情熱をもって『One Hamanako!』の実現に向かって全力で取り組みます。

基本方針及び重点事項

1. SDGsの推進
2. 主体性を持った「個」が集う組織への変革
3. 信頼に値するJAYCEE
4. 新規会員拡大10名
5. 青少年育成事業の実施
6. 時代に即した広報戦略の構築
7. 45周年事業の実施